変更後の認定事業適応計画の概要の公表

１．変更認定をした日付

令和６年１月１２日

２．変更後の認定事業適応事業者の名称

株式会社ヨータイ

３．変更後の認定事業適応計画の内容

（１）　事業適応に係る事業の目標

近年の耐火物市場における不確実性の高まりを受け、当社は新しい技術と製品を創出し、社会に貢献する誠実な企業を目指しており、2021 年 5 月 13 日公表の第一次中期経営計画において、新たに「目指す企業像」を設定しました。この「目指す企業像」の実現に向けて、高い収益力・高い健全性の維持を図りながら、ヒト・モノ・情報などへの投資を行い、持続的成長を支える経営基盤を構築していき、付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていきます。

（２）　その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

炭素生産性を 11.7%向上することを目標とします。

（３）　財務内容の健全性の向上を示す目標

2023 年度（計画終了年度）に経常利益を計上する事を目標とします。

（４）　事業適応の類型

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（５）　計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

窯業・土石製品製造（21）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は主に耐火物を製造するものであるためです。

（６）　事業適応の具体的内容

2021 年度では、吉永工場、貝塚工場へ太陽光発電設備を導入します。

購入している電力の一部を太陽光由来の電力で賄うことで、電力使用に伴う CO_2 排出量を減少させて炭素生産性を向上させていきます。

2022 年度では瑞浪工場へ太陽光発電設備の導入及び吉永工場へは太陽光発電設備の追

加投資を行います。

太陽光由来の電力使用量増大を加速することで、電力使用に伴う CO_2 排出量を減少させて炭素生産性を向上させていきます。また、日生工場へ当社初となる 3000ｔクラスの大型高圧プレス機を、吉永工場へは 1500ｔクラスの大型高圧プレス機を導入し、生産効率を高めることで営業利益の増大を図ります。

2023 年度では、本計画で導入した生産工程効率化等設備を通期で本格稼働させることにより、炭素生産性の向上を見込むほか、日生工場初となる太陽光発電システムを導入して、購入している電力の一部を太陽光由来の電力で賄うことで、電力使用に伴う CO_2 排出量を減少させて炭素生産性を向上させていきます。

その他、中期経営計画に基づいて新製品開発に伴う売上増加、製造工程の CO_2 排出削減、BCP 対策、業務効率化投資を着実に実行していくことで、炭素生産性を向上させていきます。

（※下線設備が生産工程効率化等設備に該当）

（７）　事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022 年 3 月、終了時期 2024 年 3 月